

放課後等デイサービス自己評価 結果報告 (令和2年 3月公表)

放課後等デイサービス野っこ

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境 体制 整備	1 利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋ごとに活動を分けて人数調整をしている。</li> <li>・面談室だと人手が無いと厳しい時もあるので、プレイルーム1の窪みの所にパーティションをしたりして臨機応変にやっていきたいです。</li> <li>・2部屋で子どもの人数を調整し、分けている。</li> <li>・2つの部屋で調整できるよう分けています。</li> </ul>
	2 職員の配置や専門性は適切であるか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修後、職員全員で知識の共有をし専門性を高められる。</li> <li>・3つの事業所で、それぞれ保育士資格を取ろうとしている人がいる。職歴が様々である。</li> </ul>
	3 事業所の設備等は子どもの障がいへの配慮が適切にされているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚化・個別対応する事で配慮をしている。</li> <li>・玄関スロープやトイレの手すり等配慮しています。只今構造化の最中です。</li> <li>・試行錯誤し、皆で話し合い、改善しているが、追いついていない。担当業務等の見直しをすべき。</li> </ul>
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所での会議・主任会議をする事で法人全体での業務改善を行っている。</li> <li>・毎月、子どもの支援に関するPDCAサイクルを職員で回しています。</li> <li>・誰が何をやっているのか手伝える事は無いか皆の業務管理表が出来てから分かりやすく良い。</li> <li>・朝のミーティングでのアクティビティや個々人のねらいの確認、子ども達の送迎後の振り返りを行っている。</li> </ul>
	5 保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋がっているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の結果を受けて、話し合いを設け今後の改善に繋げるようにしています。</li> <li>・お便り等で、積極的に情報発信をしようと心掛けている。</li> </ul>
	6 この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	60%	40%		

業務改善	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	60%	40%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、法人内で他事業所間の研修を実施しており、意見交換をしている。</li> <li>・研修で頑張って改善に繋げていきたいです。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内研修、外部研修に参加しています。</li> <li>・年に何回か研修へ行かせてもらえて嬉しいです。</li> <li>・法人内研修の実施。外部研修の告知等をしている。</li> <li>・今年は何回か研修に行かせてもらえて嬉しかったです。</li> </ul>
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの立場・保護者の方の立場を考え計画を作成出来るよう考えている。</li> <li>・日々子ども達の姿や、保護者の方。学校等から知り得た情報を基に、評価・反省を作成している。それを基に個別支援計画を作成し、保護者の方と面談をして決めている。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で話し合い、対応に差が出ないようにし、アセスメントツールを使用するようにしている。</li> </ul>
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が同じ机で計画を立て、話し合いながらプログラムを立てている。</li> <li>・月に何日かを活動プログラムの立案にあてています。</li> <li>・活動プログラムの起案は職員全員で行っている。全員で向かい合って同じ場で作成し、相談もしやすい。</li> </ul>
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びのファイルを作り、色々な活動案を残していく事で活動の幅を広げている。</li> <li>・新しい遊びを月初めにそれぞれが提出をして活動プログラムに盛り込んでいる。</li> <li>・月初めに新しい遊びを出し合いマンネリ化しないようにしています。</li> <li>・新しい遊びを月初めの会議で持ち寄り、検証している。</li> <li>・新しい遊びを出し合っています。</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかな支援を行っているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日ごとに課題を決め、活動前にどう関わるのかを確認しアプローチしている。</li> <li>・長期休暇では平日に出来ない活動プログラムを行っている。</li> <li>・活動プログラムの起案書の「ねらい」を達成出来るようにサポートしながら促しています。</li> <li>・長期休暇は時間が長いので、お出かけを積極的に取り入れ、社会資源を利用している。</li> </ul>

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に予防教育をする事で個別に対応出来るようにしている。</li> <li>・子どもに合った支援を個別と集団に分けて作成している。</li> <li>・もっと全体的に計画を見直したい部分もあり課題はある。</li> </ul>
	15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のミーティングで細かい打ち合わせをしている。</li> <li>・朝のミーティング時にしっかり活動プログラムの起案書を確認し打ち合わせをしています。</li> <li>・朝のミーティング時間を30分間設け、活動プログラムのすり合わせをしている。</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎後の振り返りを必ず行って情報の共有を行っている。</li> <li>・特記・連絡事項の共有を行い、リストに記録している。</li> </ul>
	17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善に繋げているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプローチ方法と子どもの反応を具体的に記録に残すようにしている。</li> <li>・毎日送迎後に支援記録を書いている。</li> <li>・振り返りのシートに「状況」「アプローチ」「それに対する子どもの姿」という欄を載せ、正しく記録出来るようにしている。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の支援に疑問を持ったら、随時共有し合っている。</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各マニュアルを読み合わせ、支援者として法人の指針に沿った支援をしている。</li> <li>・ガイドラインすべてを理解しているわけではないので課題はある。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切に行っているか	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に迎えに行くと、1人で待っているパターンもあり、情報を聞けない子もいる。</li> </ul>
	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	80%	20%	
	22	就学前に利用していた保育園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40%	60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員とは言えない。</li> <li>・今年度は頂いた。できていない子もいるため確実に行っていきたい。</li> </ul>
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60%	40%	

関係機関や保護者との連携	24	支援困難なケースでは専門機関と連携し助言や研修を受けているか	80%	20%	・暴言やわいせつな言葉等の指導について、警察官から直接お話を聞く機会がある。
	25	利用者以外の子どもと関わる機会はあるか	100%		・公園等で地元学校の子と関わります。 ・子どもの兄弟や、公園に遊びに行った際は、地域の子ども達との交流がある。
	26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	60%	40%	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		・送迎時にはその日の子どもの様子（どうい う対応をしたか）を伝えおうちでの関わり方 を聞くようにしている。 ・申し送りの時に、その日の子どもの様子を 伝えている。連絡帳のやり取りもある。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	80%	20%	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		・悩みに対し、考えられる対応を伝えると共に野っこで行っている支援も共有している。 ・連絡帳に相談事を書いていただき対応している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		・親の会の茶話会や、地域カフェ心風の運営 をしている。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60%	40%	・苦情があれば周知し、誠意のある対応を心 掛けている。 ・苦情の周知を図り、対応の相談をしてい る。 ・行ってはいるが、迅速ではない部分が多々 あるので、もっと迅速に行っていけるよう にしていきたいです。
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		・お出かけで必要な物等のお知らせが遅くな る事があるので、お出かけの計画が入ったら 全員が周知し誰がお知らせを作るか決めて しっかり行っていきたいと思います。 ・毎月、職員が交代でお便りを作成してい る。
34	個人情報に十分注意しているか	80%	20%	・個人の電話番号・住所等、個人が特定出来るようなものはシュレッダーを使用している。 ・社外に個人名のもの等は出さないように留意しています。 ・裏紙で子どもの活動プログラムのシュレッダーをする際は、名前の書いていないものになっている。	

保護者への説明責任等	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚支援ツールや連絡帳を使用している。</li> <li>・特記（子どもについて）は、ふせんに記入し、送迎時に保護者の方に伝えている。</li> </ul>
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60%	40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域カフェ心風を運営している。</li> </ul>
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	40%	60%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方に対しては周知出来ていない。お便りにどういう取り組みをしているかを載せるなどのことができると思う。</li> <li>・マニュアルを読むか読まないかでは、読んでおいた方が実際にやらなければならない場面で焦らず行えると思うので定期的に読み知識を身につけ知っておきたいと思う。</li> <li>・職員間ではマニュアルを読み合わせている。保護者の方に対しては分からない。</li> <li>・職員には周知していたが、保護者の方への周知があまりされていないと思うので、今後お便り等に掲載していきたいです。</li> </ul>
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、3ヶ月に一度、火災・地震・不審者に対応する訓練を行っています。</li> <li>・定期的に訓練している。</li> <li>・半年に一回は行っているが、もう少し定期的に行っていけるようにしたいです。</li> </ul>
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%		20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月初めにマニュアルを読み合わせ、職員間でも意識できるようにしている。</li> </ul>
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時等必要に応じて対応をする事を伝えるようにしている。</li> <li>・予防教育、タイムアウトをチームで行っている。それを保護者の方にも説明を行うが、全ての方にできているわけではないため課題は残る。</li> </ul>
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	60%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーの疑いがあれば保護者の方へ確認をしている。現在は指示書のある子どもが居ない。</li> <li>・今いる子ども達はもちろん新しい子ども達が入るタイミングで情報を共有し確実に対応出来るようにしたいです。</li> </ul>
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議で一例ずつ出し合い、話し合っています。</li> <li>・会議で一人ずつローテーションで発表し共有しています。</li> <li>・週1回の会議で、報告している。</li> </ul>

非常時等の対応	43	身体拘束を行った場合の必要な記録を取るための様式が用意されているか	60%	20%	20%	・前例がないため、様式はあるが、いざというときに活用できないと思う。職員で話し合い、みんなが活用出来るようにする。
	44	遊具・施設等の安全点検を定期的に行い必要な措置がされているか	80%	20%		・特記の時間に共有し、改善案を話し合っている。